

◆特集 / 毛の美容外科

PEPARS

Ⅱ. 脱毛

絶縁針脱毛(絶縁針電気凝固脱毛)

石川 修一*

Key Words : 永久脱毛(permanent hair removal), 絶縁針脱毛(insulated needle epilation), 絶縁針電気凝固法(insulation needle electrocoagulation method), レーザー脱毛後の多毛化と硬毛化(hairy & hardening hair after laser hair removal), 母斑脱毛(nevus epilation)

Abstract 永久脱毛術には大きく分けて2種類の方法がある。針脱毛術とレーザー脱毛術である。針脱毛としては、絶縁針脱毛術(絶縁針電気凝固脱毛)が主流で、最近はこの原理を応用して、腋の汗腺を焼灼する方法のアポクリン腺凝固法やエクリン腺凝固法、鼻や顔の皮脂腺を焼灼する皮脂腺凝固法、あるいはその応用として、腋の毛をレーザー脱毛した後で汗や皮脂が減少せず、しかし手術は希望しないという患者に対しての毛穴凝固法などへ広がりを見せている。

レーザー脱毛術で硬毛化したり、白髪・軟毛・母斑の中の毛などにより結果が得られなくても、絶縁針脱毛術では直接絶縁針で毛根のみを焼灼・凝固することで良好な結果が得られる。ここでは絶縁針脱毛術のみを解説する。

何故、今針脱毛なのか

近年、レーザー脱毛が台頭してきたため、針脱毛の代表格の絶縁針脱毛が廃れるかにみえた。しかしながら、レーザー脱毛により生じた硬毛化・多毛化への対策や、レーザー脱毛は白毛・産毛・金髪、母斑の中の毛、男性陰部の陰茎・陰囊、または肛門周囲での効果が低いことから、絶縁針脱毛が見直されつつある。レーザー脱毛術には失明の危険により眼周囲に施術できないなど、毛の質により施術できない場所やできない毛はあるが、絶縁針脱毛術では治療できない部位や毛質はなく、形を作る眉脱毛や眼も可能である。当然ながら永久脱毛は医師または医師の監督下で看護師のみが許される行為である。

形成外科医であれば、数週間の練習で確実性とスピードが出てきたら患者に施術することができ



図 1. COA-50NX(株式会社ニドー)

る。その上で看護師に指導するとよいと思われる。看護師であれば患者に施術できるようになるまで、少なくとも約3か月はかかると思われる。

絶縁針脱毛に使用する機械は多くの施設がHR-5000という機種を使用していたが、廃版になり、現在は「株式会社ニドー」から出ている「COA-50NX」という新型器と絶縁針が使用されている(図1)。正しく絶縁針脱毛術を行い、トラブルを避けるためには、機械の選択、絶縁針の選択、通

* Shuichi ISHIKAWA, 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル8階 リゼクリニック/北里大学医学部形成外科・美容外科, 非常勤講師

ISSN 1349-645X
文献略称 PEPARS

PEPARS No. 151 別刷

毛の美容外科
2019年7月10日発行

株式会社 全日本病院出版会